ビルアペゼ 「ゆっくり」を軸とした、心ときめくまちづくり

ビルアペゼとは、フランス語で［穏やかな街］を意味し、自動車を完全に排除するのではなく、
歩行者や自転車など「人」を中心として安全で快適な街を再生する都市計画の考え方。



スローモビリティ、自転車、子どもや高齢者、みんなが共存
<参考資料>「なぜクルマの速度を下げるとまちが再生するのか―人とモビリティが共生するビルアペゼ戦略―」
[illegible] から

●速度と優先度の見直し
街全域でモビリティ（乗り物）の速度や優先度を場所ごとに、
段階的に調整し、中心部を低速化する。

●通過交通の排除
街の中に不要な通り抜けのクルマを入れないようにし、
歩行者や自転車、公共交通が安全に共存できる空間を作る。

●地域社会の再生
車のスピードを落として人の交流や移動の質を高めて、
街の安全や美観、地域経済の活力をより豊かにすることを目的にする。

ビルアペゼを 西荻で実現するために

1・速度を見直す　速度に応じて空間とインフラを再整備→ガードレール・信号・カーナビ経路
2・公共交通を見なおす　モビリティ計画に速度と優先度を→グリスロモビリティの導入
3・街路を見なおす　ときめき、快適性を実現する街路空間づくり→滞在空間・グリーンインフラ
4・導入地区を設定する→小さいところから**社会実験**

1・速度を見直す

［ゾーン 30・生活道路］
自動車が主、ただし慎重に走る
［ゾーン 20・歩行者優先空間］
人が主役、自動車は従
［ゾーン 10・歩行者専用空間］
人の滞在を優先する空間

2・公共交通を見直す

［路線バス］　ゾーン 40~30
自転車との共存
［すぎ丸］　ゾーン 30 以下
ルートの見直し
［グリーンスローモビリティー］
ゾーン 20～10
オンデマンドタクシーなど
交通不便地域に

3・街路を見直す

［緑の空間］
木陰のある涼しい道、雨水を浸透させる道
［ひとの居場所］
出会いが生まれる道、滞在したくなる道



そよかぜ通り

4・社会実験 の候補地

(1)神明通り　神明通り交差点↔西荻南児童公園

- 歩行者優先　車の速度を２０キロ～１０キロに制限。通過交通を抑え
  子どもや高齢者、移動制約者が安心して通れる道に
- 自転車を使いやすく　速度はゆっくりを基本に。自転車置き場の工夫
- 公共交通　スローモビリティ・オンデマンドタクシーの導入
- 商店街のにぎわい　ゆっくりショッピングできる魅力的な商店街に
  伝統ある朝市や行事をさらに活気あるものに

(2)そよかぜ通り　高井戸第四小前　天狗湯↔大宮前公園

- 歩行者専用空間　車の速度を１０キロ以下、歩いて楽しい道に
  居住者用車・配送車・スローモビリティ専用に
- 緑を増やす　樹影のできる植栽や雨庭づくりなど、
  小学校とも連携し，自然との共生を実感できる道に
- 滞在できる空間　ベンチなど休憩場所、交流が生まれる空間を

(3)北銀座通り（補助 132 号線）

実証実験、データ、対話を重ねて、「車から人中心」の道づくりの実現を目指す。

※記載の内容は、各テーマ部会により作成されたものであり、区の見解とは異なる内容や表現が含まれていることがあります。
また、資料に記載した内容のすべてを実施する決定をしたものではありません。

展示パネル②

ひとみち部会「今できる移動制約者のための安全な道づくり」チーム

ウォーカブルなまちづくりは誰のため？

健康な方が気付かないバリアは、街中にはたくさんあります。
移動に障害を抱えた方の視点に立ってウォーカブルを目指します。

これまでの主な活動紹介

4月　社会福祉法人　視覚障害者支援総合センター　チャレンジ　危険マップ作り
4月27日　ミニレクチャー開催　「視覚障害者の正しい理解・気づきにくい行動特性と道の課題」
7月18日　現場調査　JR西荻窪駅ーチャレンジ（桃井4-4-3)





7月18日　現場調査報告　抜粋



- 課題：商店の看板が歩道にはみ出している。
  △解決提案：各商店に対して歩道に看板を出さないようお願いする。
- 課題：駐輪自転車がある。
  ×現状では解決困難：歩行困難な方（高齢者などの移動制約者）が自転車利用するがその方にとって適切な駐輪場所がない。
- 課題：コインパーキング、新しく空地になっているところに迷い込んでしまう。
  △解決提案：迷い込む方と話し合って足裏や白杖でも検知できるものを官民境界に敷設する。
- 課題　視覚障害支援センター前で接触事故が多発する。
  ×現状では解決困難：インフラ整備を進めることで発生する事故であり障害理解が必要。
- 課題　セブンイレブン前信号交差点　視覚障害者は正しく横断することが困難。
  △解決提案：困難な方と話し合って、エスコートゾーンを敷設する。

単独歩行する視覚障害者は、白杖、足裏感覚、環境音、空気の流れを頼りに歩行している。晴眼者は視覚を頼って歩行している。この大きな違いを理解することで、できるだけ多くの方にとってウォーカブルなまちづくりが前に進むと考えます。

次回は、車いす利用者目線で街歩きをします。

※記載の内容は、各テーマ部会により作成されたものであり、区の見解とは異なる内容や表現が含まれていることがあります。
また、資料に記載した内容のすべてを実施する決定をしたものではありません。

展示パネル③

杉並デザイン会議　ひと・みち部会

自転車チーム

メンバー：　芹沢・竹下・松本
宮﨑・中野・宮田・本間

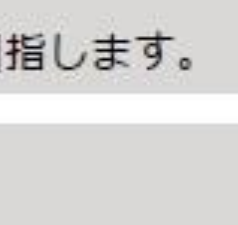
1．活動方針

住民目線の調査・議論を重ね、西荻地域を「自転車に乗りやすい・乗りたくなる場所」にする。

①私たちが普段生活する小さなスケールで街を見ること

②自転車も歩行者も自動車も無理なくできそうなこと

③私たち自身が「楽しそう！安心！やってみたい！」と感じること



2．進め方　大きく3つの取り組みを連携しながら進めています。

調査

・移動実態・駐輪場情報

・危険個所・改善点　など





デザイン

・道路や交差点・標識・駐輪場

・守れる・効果のあるルール



対話・勉強会の開催

多様な立場から、みんなが安全・

快適に移動できる道を考える



3．西荻地域の課題点と提案

生活でよく使う道や、危険に感じるところを把握することで実感にあった提案を目指します。



①地域の主要道路の整備

北銀座通りと神明通りは、交通量が多い上にお店や公共施設があり、地域の主要な道路となっている。自転車・歩行者・車が混在し危険。車の通行（速度）制限や、自転車の走行・駐輪スペースの確保が必要。

②うらみちネットワークの整備

日常生活では、主要道路と並行する住宅街の道を通る人が多い。主要道路によるネットワークの分断で危険を感じることが多いため、交差点整備が必要。



③ちょっと停められるスペースの整備

個人商店が多い西荻地域では、店の前に短時間だけ停められる駐輪場所を要望する声が多い。一時的における簡易的な駐輪スペースの設置を提案。



※記載の内容は、各テーマ部会により作成されたものであり、区の見解とは異なる内容や表現が含まれていることがあります。
また、資料に記載した内容のすべてを実施する決定をしたものではありません。

展示パネル④

西荻ならではの人中心の道づくり部会

ひと・みち部会 公共交通チーム

無理なく、公共の乗り物で西荻窪へ

みんなで考えませんか。

部会へのご参加をお待ちしております。

特に、西荻窪への行き来が不便と言われている 善福寺・上荻・南荻窪・宮前・松庵の５地域の交通移動について、突っ込んで議論し、不便を解消したいと考えています。ついては、
これらの地域にお住いの方々が部会に参加され、住みよい街づくりに皆様のご意見をいただけと大変助かります。（在籍の部員に声を掛けてください）

現況と今後の流れ

A.西荻窪駅に向かう路線バスの減便の２ルートと各停留場（２００m圏）

（令和８年７月）
路線バスの減便となる（荻 36、荻４０）と荻窪駅に向かう１ルート（荻６０）を地図上に示しました。（右図）
併せて西荻窪駅と荻窪駅の駅勢圏（８００m）を示しました。

B. 現状を調べ公共交通の勉強会で、交通の不便について検討します。

令和８年 10 月～
高齢者の通院、買い物、障がい者・子育て世代の移動時の不便について、有識者を交え検討し、アンケートについて議論します。

C. 公共交通（路線バス・すぎ丸・AI オンデマンド等に）ついてヒアリング

令和８年 12 月
12 月に開催される区地域公共交通協議会を傍聴し、現況と来年度の活動予定を把握します。またタクシー等の自動運転について調査します。

D. 都市計画道路１３２号線との関係（バス路線への影響）を把握します。

令和９年
132 号線をの建設状況と次年度の進捗を把握します。

E. 地域の公共交通についてのアンケート調査の実施と解析

令和９年
アンケート調査に協力し有識者を交えて分析をおこないます。ルート、移動手段や時間や停留所の改善、交通手段等について議論し提案します。

【テーマ：公共交通】

部会では、複数の交通不便地域で、 路線バスの減便による待ち時間の増加や、すぎ丸（西荻―久我山の８の字運行）による西荻窪への移動時間の長さを課題として認識しています。 そのため、新たな、交通手段の導入を検討しています。



交通手段
・荻窪のグリスロ（低速小型バス）
・堀ノ内の AI オンデマンド（スマホで事前予約する乗合タクシー）で、より移動しやすい環境となる交通の仕組みを考えています。

① 路線バス	② すぎ丸	③ グリスロ	④ AI オンデマンド
（関東バス）荻 40	（かえで路線）	（グリーンモビリティ低速小型バス）	（スマホ予約乗合タクシー）
			

※記載の内容は、各テーマ部会により作成されたものであり、区の見解とは異なる内容や表現が含まれていることがあります。
また、資料に記載した内容のすべてを実施する決定をしたものではありません。